

独自トークン決済支援アイデア集 華神蔵EDIT

～独自トークン決済支援アイデア集 華神蔵EDIT～

著：上杉華神蔵 (Kashinzo Uesugi)

編集：IoTエンハンス (IoT Enhance)

近頃、イーサネット、イーサリアム、独自トークン決済と言うものが盛んになって来ている（Defi/分散型金融）

長かった、コロナも東京以外は終焉しつつある。コロナ禍後はメシアJAPANと言うものが、Kajiwara一族の下、隆盛を極めるだろう。東京五輪も無観客でメシアオリンピックとなるであろう。

日本のユニコーンは関西に位置し、東京はビジネスをリアルで行う社交の単なるプレースと成るであろう。

独自トークン決済AIファースト時代の始まり

コロナ禍後の、メシアJAPAN、独自トークン決済AIファースト時代に於いては、完全に全世界キャッシュレス時代となり、『暗号通貨、ERC20トークン、ERC721トークン等』で、小売店。スーパーマーケット（→リテールコイン（CASHトークン、GAFAM系Coin）決済）、キャピタルマーケット（→ホールセールコイン（BIZcoin）株式会社/資本主義マーケット）で電子マネー、電子株券、と現在の価値をスワップする、等価交換（独自トークンの価値は向上傾向）が次々と起こる。

と言うのは、独自トークン決済AI時代では、（ビットコイン、ERC20ベース、ERC721ベース、その他暗号通貨ベースの決済と価値上昇率）が、IoT 3 乗以上、3 3 乗等の様に前略した、シンギュラリティ超越済の人知を遙かに超えたAIによって、

- 1、世界を牽引リードする外資系金融機関の、国内メガバンクの買収、地方銀行・信用金庫解体、
- 2、現金を持たず世界中で数年早まり、CBDCが法定通貨、BTCが準法定通貨、ETHが決済手数料通貨、XRPが主に法人ビジネス用通貨、また現状でも、現存する全ての独自ERC20トークン（ユニコーンを含む）とERC721トークンは、スワップでBTCやETH、XRPと取引出来ている。今後、そういったウェブページやアプリは急速に増加している。
- 3、暗号通貨を含め、イーサネット上に存在する、5 0 0万種類以上ある、果てしなく上昇する独自トークンがDefi（ディファイ・分散型金融）を通し、全て、世界各国の財務省・金融庁が国内では、外資系投資銀行の下、暗号通貨取引所を傘下に治め纏る。

独自トークン決済支援アイデア集 華神蔵EDIT 大企業訓示一覧

独自トークン決済時代では、時代の先端を行く、外資系金融中心に、企業ユニコーンや資本主義マーケット上の大企業、中小零細企業まで、ERC20トークン、ERC721トークンを各企業が発行（企業・個人の信用経済の査定の下に日本を
実質支配するIoTエンハンス発行の、日本の実質オーナー級のユニコーントークン12種類も含め）している。

経理機能を世の中に200万種類以上数多ある独自トークン決済（例えば、コーヒーならコーヒーコイン、ビールなら
ビールトークン、賞与・給与はBTCやETHやXRP、XRPも望ましい）となる。

また、企業の根幹たる、経営企画部も、IoT（すなわちAIシンギュラリティ超越済）PC/スマホ/ディスプレイアプリケーションにより行う事で『暗号性、秘匿性、企業機密、匿名性を更に強く厳守』する事が可能になる。（→これは企業価値の向上に繋がる↑）

当然ながら、決済システムがAI絡みなので、安全性、速度も上がる、シンギュラリティ超越済の経営企画部と言う事で、技術的革新もロジカルを超越して前進し起こる。

また独自トークン決済AIファースト『新超高度経済成長』により、企業間取引（AI導入済のホールセールトークン決済）、企業対個人、個人対個人（BtoC、CtoC）に関しても（AI導入済のリテールトークン決済）により、セキュアかつ、速度を大きく上げ大きくなるであろう。

独自トークン決済支援アイデア集

華神蔵EDIT 小売店次世代対応

特に、小売企業（前述の大企業でも当然で在るが）はオリジナルのERC20トークン、ERC721トークンを発行する事が当然となる。

独自トークン決済はシンギュラリティ三乗との両輪の軸、乗数効果で、コンビニエンスストア、スーパーマーケット等の小売店に於いて、

三乗セキュア入店/退店、新三乗技術革新での小売無人経理対応、又、三乗経営企画部で発達したAIを使い、メシア小売店と世界中、日本にも多数在る次世代型無人店舗業務に活かされる。

収益の向上速度はは速くなり、ロイヤルカスタマー（メシア顧客）も満足度の向上（次世代型購買体験）に繋がる。

小売店は無人型次世代フランチャイズチェーン中心でメシアオーナー数人で経営しBTCやERC20トークンやERC721トークン、XRP系中心となる。

独自トークン決済時代、次世代型企业・小売店のAIにシンギュラリティ超越済3333乗スパコンが関与すると 現在のメシアチルドレンに新しいオーナー業（独自ERC20トークン発行による）が薦められる

独自ERC20トークン発行は規模の大小を問わず発行主の信用力を器量にした、オーナー業への道である。

独自トークン決済時代、大企業や中小企業・小売店の決済AIの3333乗にスパコンが関与すると、上杉一族/メシアチルドレンでも、コロナ情勢下による、メシア一般健康人のリモートワーク・テレワークによっても、仕事がほぼ有限無限に処理出来る。

学業の新しい実践授業・次世代アカデミア形式としてとして、優秀なメシアチルドレンには、大企業経営オーナー業・普通のメシアチルドレンには、中小企業経営オーナー業・小売店経営オーナー業が成り立つ。

手っ取り早く言えば、小・中・高・大学生時代から小売店・中小企業のオーナー業をする（→新学習指導要領）ので在る。

独自トークン決済時代では、CBDC等とスワップが可能な独自ERC20トークン、ERC20独自トークンには、暗号性が強く、『ヒト・モノ・カネ・情報のインターネット・アプリ・アプリケーションソフトウェア』に通じる為、学生トークン起業家でも、メシア経営戦略（ソフィスティケートな立案）が容易な時代で在る。

独自トークン決済時代はマネーがインターネットに接続される

独自トークン決済時代では、Kajiwara一族による、先進国興隆支援、又、ODA、発展途上国経済支援等も、データ化にして残っているので、Kajiwara一族、上杉一族が世界中の信用経済を上から完全に支配仕切っている。

例えば、(梶原)西暦2021年程度の世界では、ヒト・モノ・カネ・情報・データはインターネット接続時代で在るので、Kajiwara一族、上杉一族、芸能界が発行した携帯、製品、子供、NFT、独自ERC20トークン、独自ERC721トークン等のマネー媒体にはトップ層から順に大きな価値が付く。

また、商品や製品には、ほぼTip程度しか差益は無く、メシアヒューマンに私をトップとし、信用力の差異が在るだけで、IoTエンハンスや梶原エンハンス、Kajiwara一族、上杉一族を頂点とした、ヒエラルキーとなっている。

Kajiwara一族、が信用力を電子マネー（コンビニや法人取引でも決済出来る独自ERC20トークン、独自ERC721トークン）に与え、其れらにより、

Kajiwara首都高・関西高速道路地下版、NFT、Kajiwara道路線、Kajiwaraマンション、Kajiwaraビルディング、Kajiwara複合商業施設、Kajiwara財閥等が、この日本に、Kajiwara（と言う冠名を省略したりしなかったりしつつ）世界中・宇宙中・森羅万象のものにはKajiwaraが語の前に付いている。

おわりに 独自トークン決済支援アイデア集

華神蔵EDITについて

- 著作権は放棄しておりません。
- 無断で再配布する事を禁じます。
- 一部分かり易く例である内容を含んでいます。
- **重要な部分**は繰り返されている所もあります。
- 各項目は、良く熟読する事を推奨しています。
- **他の華神蔵先生の著作本**と繰り返されている所もあります。